

なんなんだ 夏だといふのに 冷房なしで この涼しさは!!

涼しさ体感構造見学会

7月1日(土)・2日(日) 午前9時~午後5時 大田原市下石上

冬暖かいのはもう当たり前
だからといって夏涼しいとは限らない
完成現場では見ることが出来ない
真夏でも冷房のいらぬ家の秘密を
骨組みの段階でぜひお確かめ下さい



平屋が危ない 夏が危ない!!

下野新聞 1878年(明治11年)創刊 2016年(平成28年)8月26日(金) ※下野新聞より転載

- 2階建ての場合、1階より2階のほうが断然暑くなる
⇒ ということは、平屋建ての場合、家全体が暑くなる
- 2015年の6～9月に熱中症で救急搬送された人は前年比32.2%の大幅増
- 高齢者の搬送者に重症者や死亡者が多くなる大きな要因は、人工的な冷気が嫌いだという事

宇都宮気象台観測値

宇都宮地方気象台(宇都宮市明保野町)で観測している年平均気温(平年値13.8度)が100年間当たり2.1度上昇していたことが、25日までに分かった。最高気温が30度以上の真夏日の年間日数(同43.6日)は33日増える一方、最低気温が0度未満の冬日(同79.7日)は52日減少するなど、統計を通じて温暖化の傾向が見て取れる。(藤野剛)

真夏日33日増 冬日は52日減

東管区気象台は今年、2014年までの観測データを気象に関する知見に基づき、気象を巡る関東甲信、北陸、東海のリポートをまとめた。設置年の1891年以降の同気象台の平均気温は開多の18日目を記録し、年間に急増して2014年以降の年間平均気温は16.4度と、100年間で1.6度上昇した。真夏日は33日増え、冬日は52日減となった。

100年で気温2.1度上昇

年平均温暖化、都市化が影響

冬暖かいだけでは駄目 夏冷房なしで過ごしやすい家づくりが平屋にこそ重要だから

一般的な高气密高断熱住宅では、1階より2階のほうが暑くなります。これは、壁面よりも屋根面が受ける熱量が圧倒的に多いからで、太陽の南中高度が高くなる真夏は尚更のことです。

平屋建ての家は全ての空間が屋根の直下階ですので、家全体が暑くなってしまいます。

開口部からの熱は葎簀や簾、カーテン等である程度対処出来ますが、屋根からの熱には後からでは対処することが出来ません。だからといって、夏に冷房を必須とした家づくり、冷房を前提とした家づくりが果たして望ましいのでしょうか。

新築して、そこに何年住むことになるでしょう。更に温暖化が進むことを考えれば、冬暖かく、夏冷房なしで過ごしやすい家づくりが、求められるのではないのでしょうか。



■建設業許可／栃木県知事(般-20)第19960号
■栃木県宅地建物取引業協会会員／栃木県知事免許(9)第2608号

株式会社相互企画

〒329-2705 栃木県那須塩原市南郷屋4-16-1

TEL.0287-36-3925

相互企画の快適住まいシリーズ



http://www.reibou-zero.com